

年月日 平日＝2010年08月12日（木・曇り時々雨）  
休日＝2010年08月29日（日・晴）

回数 2009期・第15回平日巡礼＝17名  
2010期・第4回休日巡礼＝24名

- 巡礼寺・順 ●五十番札所 玄通寺（げんつうじ）
- \*本尊・観世音菩薩 山号・古松山 曹洞宗・（下田・大安寺・末寺） 草創・1396（応永三年）以前
  - \*創立年代は、不明ですが、玄翁心昭（大寂院法王禪師）により下田との境の山頂に創建された。
  - 玄翁は応永三年一月七日没、なので草創はそれ以前です、山頂で不便な為、1912（明治四十五年）現在地に移転する。
  - \* 無住寺院の為、御朱印は六十三番・保春寺で頂きます。
- 六十五番札所 最福寺（さいふくじ）
- \* 本尊・観世音菩薩 山号・田村山 曹洞宗（大安寺・末寺） 草創・1500（明応九年）
  - \* 創立当時は普濟庵といい、真言宗の寺であった、後に、大安寺三世僧・孝孫により曹洞宗・最福寺と改める。
  - \* 無住寺院の為、御朱印は四十三番・大安寺で頂きます。
- 六十六番札所 岩殿寺（がんでんじ）
- \* 本尊・薬師如来 山号・波次磯山 真言宗（般若院・末寺） 草創・976（貞元二年）
  - \* 僧・継雲により創立、その後衰退していたのを、1273（文永十年）僧・丁快が再興する。
  - 当時は北條氏の庇護を受け隆盛を誇っていたが、1590（天正十八年）戦乱で炎上衰退し復興しないまま現在に至る。
  - \* 無住寺院の為、御朱印は川向かいの岩殿窯で頂きます。
- 六十七番札所 安楽寺（あんらくじ）
- \* 本尊・釈迦如来 山号・太梅山 曹洞宗（曹洞院・末寺） 草創・不明
  - \* 創立当時は祥安寺といい、真言宗の寺であった。後に、1555（弘

治元年)曹洞院、四世僧・宗菊により曹洞宗に改める。

\* 無住寺院の為、御朱印は自分で押せる様になっています、納経料は賽銭箱へ入れる事。

●六十八番札所 東林寺 (とうりんじ)

\* 本尊・薬師如来 山号・廬岳山 曹洞宗 (曹洞院・末寺)  
草創・1592-96(文禄年間)

\* 本尊・薬師如来像は鎌倉時代中期の慶派仏師の作 (修復済)。

\* 僧・龍山が創立した小庵を、後に、1600 (慶長五年)曹洞院八世僧・天策により堂を建て一寺とした。

●六十一番札所 法泉寺 (ほうせんじ)

\* 本尊・大日如来 山号・臥龍山 曹洞宗 (最福寺・末寺)  
草創・1244(寛文二年)

\* 開創当初は真言宗の小庵であった、1662(寛文二年)最福寺の僧・宝山順が曹洞宗の寺として再興とある。

距離 (約) 2.5 Km + 2.5 Km + 2 Km + 1 Km + 1.5 Km + 4 Km =  
13.5 Km

タイム 裾野市役所 5 : 00 — 下土狩駅 5 : 20 — 下田 — 龍雲寺 発 7 : 55 —  
玄通寺 8 : 30 ~ 45 — 最福寺 9 : 15 ~ 30 — 岩殿寺 9 : 50 ~ 10  
: 05 — 安楽寺 10 : 20 ~ 40 — 東林寺 12 : 20 ~ 13 : 20 — 法  
泉寺 14 : 30

温泉 下賀茂・銀の湯 = 900 — (団体割引で 720 —)

寺経費 玄通寺 (休日 1000 —)

例年猛暑の8月巡礼はお休みだが、今後の天候もあり今年実施した。平日は雨模様でむしろ涼しく快適だった。休日は好天だったが、風があり割合歩き易かった。

前回最終の龍雲寺から出発。最初から上り坂でやや苦戦。坂を上り切ると「八声トンネル」(やこえ)を潜る。トンネルの向こうは、タケノコで有名な一条集落が広がる。坂を下って行くとカーブ左に50番・玄通寺がある。

ここは無住職だが、63番・保春寺の住職が来て開けてくれた。休日は奥様も来られた。ここから更に一条川に沿って下って行くと、青野川と合流する手前に65番・最福寺がある。平日はここで豪雨に遭ったが、程なく小降りになった。



玄通寺



最福寺



岩殿寺



最福寺も無住職。平日は外でお勤めだったが、休日は近くの寺番さんが来て本堂を開けてくれた。聞けば保春寺の住職から来ることを聞いたと言った。

ここから青野川に沿って北上する。岩殿と言う地名に66番・岩殿寺がある。ここも無住職。実は今日の巡礼寺六寺は全て無住職。特にこの辺りは僻地??で無住職寺が多い。68番・東林寺の兼務住職は何と小田原の方だそう。岩殿寺のご朱印は向かいの岩殿窯の方に頂く。

ここから下小野の安楽寺に向かう。回りの田んぼの稲穂は黄色の実り、刈り取りを待つばかりだ。青野川を渡り安楽寺着。本堂の窓を開け空気を入れ替える。ここは主道路から奥まった目立たない寺だが、鍵は掛けていないし、ご朱印代は机の上に置いて来る。一体誰がいつ回収に来るのか、実にノンビリしている。



安楽寺



ここの地名は下小野と呼ばれている。面白い伝説があるので紹介します。この紹介文は、私が2006年に出版した「伊豆の里山・50山」の中の一節です。

三角点・よもやま話

## 「小町」という三角点

石廊崎から旧天城峠の縦走時、下田の下小野に「小町」という三角点があることに気がついた。実際訪れ、インターネットで歴史を知った。



## ふるさと再発見

### 南伊豆町石井「流人哀地・小野塚」 高野 晃一

下小野三島神社の手前を上小野へ向かって少し行くと、右手に小高い丘があり、この上に数基の墓があります。昔から土地の人々は、これを小野塚（又は小町塚）と呼んで供養してきました。この下の道路は子浦街道と言い、その昔下田から子浦へ通じる唯一のバス道路でした。

私が現職教員として南伊豆町立南上小学校に勤務していた頃、よく子供達を連れては地域探訪に出かけたものです。私にとって、快活な子供達と共に地域に出かけるのは教師生活の上でも楽しみな授業の一つでした。学校のすぐ下を流れる青野川に沿って下っていくと、小野橋という橋があります。その付近の丘の上で子供達が発見したのが、いわゆる小野塚でした。南伊豆に住む住人の一人として興味を持ち、詳しく調べた事が、今でも現職教員時代の思い出の一つとなっています。

この小野橋を中心にこの地域の名称は下小野・上小野と名づけられています。私が、青野川流域委員として河川整備の会合に出席した時も、この小野塚にまつわる和歌の話をさせていただきましたが、伊豆最南端の南伊豆町でも奈良時代の頃からの人の歴史が脈々と流れています。

考えてみれば、この伊豆の地には日蓮大聖人・源頼朝等々、歴史的人物が流罪されています。天城を越えた伊豆の地にも京都流人のはなしや、秀吉・家康の時代の流人の話が南八千石といわれている広大な地域の各地に残されています。

私の住んでいる地名は石井と言いますが、近くには下賀茂・上賀茂・加納・一条・二条と言う地名もあります。京都風な生活を偲んで生活してきた流人哀地の南伊豆とでもいいでしょうか。

ちなみに、我が家の名字は「高野」と言いますが、壇ノ浦で敗れた平家の落人高野水軍が伊豆の中木港にたどり着き住み着いたそのなれの果てだと言われているが、それは定かではありません。

聖武天皇十三年（西暦741年）藤原広嗣の乱に荷担した罪で、外従五位下小野朝臣東人はこの地に流刑となりました。小野東人に美しく和歌に堪能な娘がいて

浮草を かきわけ見れば 底の月

ここに有とは 誰か知らなん

と言う和歌を朝廷に詠進したところお褒めを頂き、小野東人は流罪を許されて召返され、娘は東小町という称号を賜りました。この故事からこの辺りが小野という地名になったと伝えられています。（南史資料より）

天平年間第四十五代聖武天皇の御代、藤原氏全盛の中、執権を握っていた藤原武智麻呂（むちまろ）、房前（ふささき）、宇合麻呂（うまかいまろ）等四人が当時大流行の天然痘により相次いで死去、その為藤原氏の勢力が一時後退する間に皇親にあたる、橘諸兄（たちばなのもろえ）が政権を執り玄昉（げんぼう）や吉備眞備（きびのまきび）を起用し、宇合の長子藤原広嗣を遠く大宰府に左遷されました。

これらに不満を抱く広嗣は玄昉等の排除を奏上したが聞き入れない為、天平十二年（西暦740）挙兵これに対し朝廷では大野東人を大將軍にして一万七千の兵をもって討伐に向かわせ一万の九州勢と激戦の末、これを鎮圧、広嗣は処刑されたのです。

謂、藤原広嗣の乱です。この乱に荷担した罪により、広嗣の弟藤原朝臣良嗣と小野朝臣東人は囚われの身となり、平城宮の獄において五十回の杖打の刑を受け、伊豆へ流罪となったのです。

（続日本紀より）



下小野の四等三角点「小町」（2005・12・29）  
青野川を渡り、安楽寺に向かって左の田んぼの中に  
あります。

ここから68番・東林寺に向かう。平日時は寺番の女性と娘さん？がモメていて、ちょっと驚いた。時間的にここで昼食・休憩をする。食後の本堂での昼寝は実に気持が良い。

予定では今日の巡礼はここまでだったが、時間があったので61番・法泉寺まで足を伸ばす。平日時は私が次の寺を68番の次で69番と言ってしまう、バスとサポーターのIさんが、常石寺に行って、ご朱印も貰ってしまうハプニングがあった。

61番・法泉寺も無住職・ご朱印は檀家のSさんがやっている。ただ、ご朱印当番は2年交替なので前回の方とは違っていた。檀家は40軒ほどで、管理はなかなか大変な様子。寺の建て替え時、100万円寄進した方がいたようだ。今回の巡礼はここまで。早々に温泉に向かった。



法泉寺・ご朱印係りSさん



法泉寺



平日巡礼・東林寺



休日巡礼・法泉寺